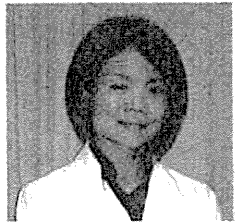
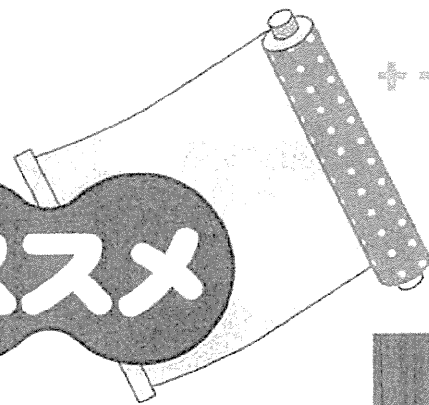


管理栄養士 ^{ぷらま} + ワン

資格取得のススメ



武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科講師

鞍田三貴
くらた・みき

09 サプリメントアドバイザー

資格取得 DATA

- ①資格区分：民間資格。サプリメントアドバイザーを養成する施設はいくつかあるが、ここでは日本臨床栄養協会の教育組織の一つである日本サプリメントアドバイザー認定機構について述べる。
- ②資格タイプ：スペシャリスト型。
- ③資格概要：2001（平成13）年4月より、食品衛生調査会および公衆衛生審議会より「保健機能食品」制度が実施されている。サプリメントは食品の機能を強調したものであり、医薬品と食品の性格を兼ね備えるものである。消費者（国民）が安全に保健機能食品を摂取するためには、正しい栄養学が消費者に理解されることが重要であり、サプリメントアドバイザーは十分な知識と技能を修得し、消費者に正しい知識を提供し、国民の健康の増進に寄与する。
- ④現在の資格取得者数：3,911人。おもな内訳は薬剤師20.7%、管理栄養士15.4%、栄養士3.7%、指定国家資格のない人19.8%（2009年1月現在：日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー）。
- ⑤資格認定条件：①認定対象：医師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、保健師や食品衛生・健康の維持増進・予防医学にかかわりのある業務に従事する者、または保健機能食品などの製造・開発・販売に従事する者などすべて。②受験資格：■日本臨床栄養協会の正会員、団体会員または学校登録申請校の学生会員であること。■研修単位を40単位取得*1していること。
- ⑥試験内容：①必須科目：8科目。サプリメント概論、食生活論、栄養学、生活習慣病概論、公衆衛生学、臨床薬理学、食品機能と安全性、国内外の関連法規。②選択科目：指定国家資格*2および指定国家資格に準ずる人*3は選択科目を免除。それ以外の資格のない人または学校登録申請校の在籍学生は、必須科目に加え基礎生化学、基礎生理学、カウンセリング法のうち2科目を選択。くわしくは下記ホームページ参照。
- ⑦受験提出書類：受験願書（別途様式あり）、日本臨床栄養協会会員証のコピー、研修単位40単位が証明できるコピー、受験料の振り込みを証明できるもののコピーなど、指定した書類。
- ⑧受験料：15,000円。
- ⑨更新：5年ごと、50単位。くわしくは下記ホームページ参照。
- ⑩問い合わせ・申し込み先：資料請求はホームページ（<http://www.jcna.jp>）内の資料請求フォームまたは住所、氏名、電話番号を記入のうえFAX（03-3467-0447）で申し込む。

*1：研修単位の取得方法（更新のための研修単位にも利用できる）：通信教育や研修などの出席、学会発表、論文掲載などにより単位を取得し受験資格が得られるが、40単位のうち30単位は日本臨床栄養協会・日本サプリメントアドバイザー認定機構主催の通信教育または講演会から取得する必要がある。40単位は認定試験に合格するまで有効（不合格でも次年度に受験できる）。くわしくは上記ホームページ参照。

*2：指定国家資格：医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、管理栄養士、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、鍼灸指圧師、理容美容師、歯科衛生士、柔道整復師、保育士。

*3：指定国家資格に準ずる者：食品・生物・生命科学系学部修了者。

■ サプリメントを正しく取り扱うために

日本におけるサプリメントは薬と食品の性格を併せもっており、原材料は食品です。これは、諸外国の人にはとてもわかりにくいものといえます。米国やヨーロッパでは、サプリメントは一般の食品と区別するためにカプセルや錠剤でなければなりません。食事を補助するために用いられるものと定義されており、「ビタミンやミネラル、アミノ酸、ハーブなどの栄養成分が1種類以上を含むもの」とされています。

日本では、審査が必要な個別評価型、審査のない栄養機能食品を合わせて「保健機能食品」と呼び、医薬品と区別されています。しかし、一般食品のなかには、“いわゆる健康食品”が数多く市場に出回っており、ドラッグストア、コンビニエンスストア、インターネット、訪問販売などで簡単に購入できます。海外で購入したサプリメント（痩せ薬）により起きた死亡事故は、記憶に新しいところです。国民一人ひとりが、責任をもってサプリメントを選択しなければならない時代であるといえます。

■ サプリメントアドバイザーの必要性

私は以前勤務していたがん基幹病院で、わらにもすぎる想いで高価なサプリメントを購入している多くのがん患者さんに会いました。健康食品市場の拡大や報道の氾濫により、消費者は混乱しており、食品の安全性や使用法について適切な情報伝達がされているとはとてもいえません。サプリメントを消費者自らが正しく判断し、選択することで、健康の維持や生活習慣



消費者に対して保健機能食品およびサプリメントについて、専門的観点から栄養状態を評価し、適切なアドバイスができます。写真は患者の病室に訪問している様子。

病の一次予防に役立つためのものとするのが可能となります。しかし、そのためには正しい知識と情報を伝達できる専門家が必要です。つまり、サプリメントアドバイザーという資格が誕生したことは、時代の流れとして当然のことなのです。

■ サプリメントアドバイザーの資格は

どのような人に有効か

サプリメントアドバイザーは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師など、指定国家資格をもつ医療者だけでなく、資格をもたない人でも取得可能です。しかし、試験科目を見ると、管理栄養士や薬剤師はとくに有利であると思われる。私の個人的な意見ですが、医療関係者だけではなく、“いわゆる健康食品”を生産する人、消費する人、売る人など、すべての人がもってほしい資格です。